



千の声

向井ちひろ市議会通信 NO.33

千の声とともに

向井ちひろ市議会通信「千の声」は、千人、万人の人たちの声とともにまちづくりを考えていきたいという思いで、発行を始めました。これまでの8年間、さまざまな声をお寄せ頂いていることに感謝しています。私は、寄せられた声を聴き、困りごとを少しでも解決するために行政に働きかけたり、調査研究して、より良い施策を提案できるように取り組んできました。これからも皆さまの声をお聞かせ頂き、共により良い丹波篠山市を創っていきたく思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

皆さまから寄せられた声にとりこんでいます

*災害福祉について、被災された高齢者や障がい者などに配慮した福祉避難所が必要だと思う。丹波篠山市には福祉避難所はあるのか？（市民）

→ 指定している福祉避難所は6か所あり、市内の社会福祉法人とも災害協定を結んでいる。また、福祉と防災の連携事業として「誰一人取り残さない避難訓練」を行っている。（市民安全課） ※丹波篠山市の災害福祉のあり方については、広域での連携等も含めどうあるべきか、考えていきたいです。

*中学の部活動について、成長期にある中学生の健康管理は本人や保護者が基本的な知識をもっておく必要があるが、学校からも説明があれば良いと思う。（保護者）

→ 部活動ガイドラインを定め、中でも熱中症対策など、健康管理については明記している。今後は指導者の研修で健康管理等についても考えていく。（教育委員会と保護者の話し合う場を持ちました）

*通学路で、公共施設の植栽が大きく繁り見通しが悪くなっている。通学中の自転車が接触事故にあわないように安全対策を考えてほしい。（保護者）

→ 公共施設の管理者に伝え、早速に植栽を伐採して整備していただきました。

*児童クラブを育休中でも利用可能にしてほしい。また、土曜日の利用を柔軟に対応してほしい。（保護者）

→ 児童クラブは各クラブによっても状況が異なり、指導員等の確保にも苦慮している。（こども未来部） ※児童クラブの現状や課題点などは調査研究していきます。

*獣がい対策について、サルによる農作物への被害や家屋の破壊などで本当に困っている。
市からの対策をしても効果がないので困っている。(農業者)
→森づくり部に獣がい担当職員が配置されており、対策についてはそれぞれの地域の実状
に応じて共に考えている。ねばり強く取組みたい。(森づくり部)

*村雲地区、後川地区の食料品店が閉鎖されたので、車を運転しない高齢者等は身近な食
料品店が無くなり不便になった。(市民)
→社会福祉協議会がコープこうべで実験中の宅配移動店舗を、いきいきクラブの会場等
で試行的に行っている。今後どのような方法が有効であるのか、共に考えていきたいと
思います。

*通行止めになっている市道の補修工事が予定より遅れているようだが、いつ始まるのか。
→担当課に伝え、工事が遅れている理由や状況について、自治会長に説明がありました。

地域での催し等に参加しました

雲部地区防災学習	農業振興大会～オーガニックビレッジのこれから
ささよう発表会2023	城東保育園・かやのみ幼稚園 あり方検討会
畑地区女性発交交流学習会	第44回ABCマラソンボランティア
3高校の未来を考える会	おいでよささっ子遊具完成式(西紀北地区)
多文化共生交流サロン	むらくも春光まつり千客万来祭

※「県道篠山京丹波線における生徒及び地域住民の安全確保に向けた要望書」

丹波県民局長、土木事務所長、大上県議に、篠山東中学校PTA会長、自治会長会と共に
要望しました。

*どんなことでもお気軽にご相談ください。

#向井ちひろ #向井ちひろと千の声 SNSで日々の活動を発信しています。



向井ちひろ(丹波篠山市議会議員 総務文教常任委員会委員長 会派「福祉と人権」)



千の声 No.33

2024年4月発行(偶数月第1土曜発行)

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前315番地3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

メール info@mukaichihiro.org

*「千の声」郵送希望の方はご連絡下さい。